



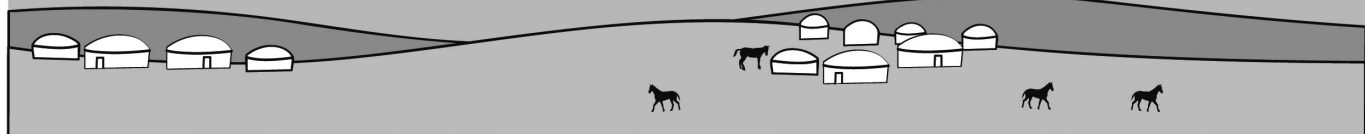
NewsLetter

vol.19

新年のご挨拶 多田元 ●

「ぴあ・かもみーる」日記③ ●

全国シェルターネット会議&日本子ども虐待防止学会 ●



新年の挨拶

理事長 多田元

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

子どもセンターパオは今年7周年を迎えます。ここまで続けて来ることができましたのも、皆様の温かいご支援の賜物です。心から感謝申し上げます。

家庭環境に恵まれず、心ない大人たちの不適切なかかわりによって傷つき、苦しみながらパオにたどり着いた子どもたちが、スタッフやパートナー弁護士、そして温かいボランティアスタッフの皆さんの協力の輪に支えられ、明るい笑顔を取り戻し、旅立っていく姿を見ることは、私たちの何よりの宝物だと思っています。

2010年12月29日に私のオンボロ法律事務所の窓際に置かれた小さな植木鉢でアサガオの花が咲きました。いつか、どこかで拾った種を上着のポケットに入れていたのを、ポケットにたまったほこりと一緒に、何の種かも忘れて植木鉢に放ったのだと思います。良い天気の日には昼間温室のようになるとはいえ、零下にも冷える事務所の中で花を咲かせたアサガオに感動して詩が生まれました。

「ふゆのアサガオ」です。

凍りつく零下のときがあっても、温かい陽を受けて小さなアサガオも咲くことができるのでしょう。パオで出会う子どもたちがつらい環境にも負けずに生きて育つ姿を冬に咲いたこの可憐なアサガオから想い浮かべました。そんな子どもたちと共にまた1年歩いて行こうと思います。どうぞよろしく願い申し上げます。

ふゆのアサガオ

空は灰色 木枯らしが吹く 寒い朝のことでした
部屋の片隅 小さな鉢に 小さな双葉が芽をだした
どこかで拾った 一粒(ひとつ)のタネが
不思議な小さな芽をだした

双葉は秘かな やわらかな陽を受けながら ツル伸ばし
葉かげにつぼみが 生まれてた
つぼみよ育てと祈ります

北風の吹く 霜の朝 小さな花が咲きました
季節はずれて 秘かに咲いた
ピンクの小さなアサガオよ

小さな鉢の アサガオが 冬の世界に灯をともす

わたしの心に いつまでも
いのちの証(あかし)が 生きている

